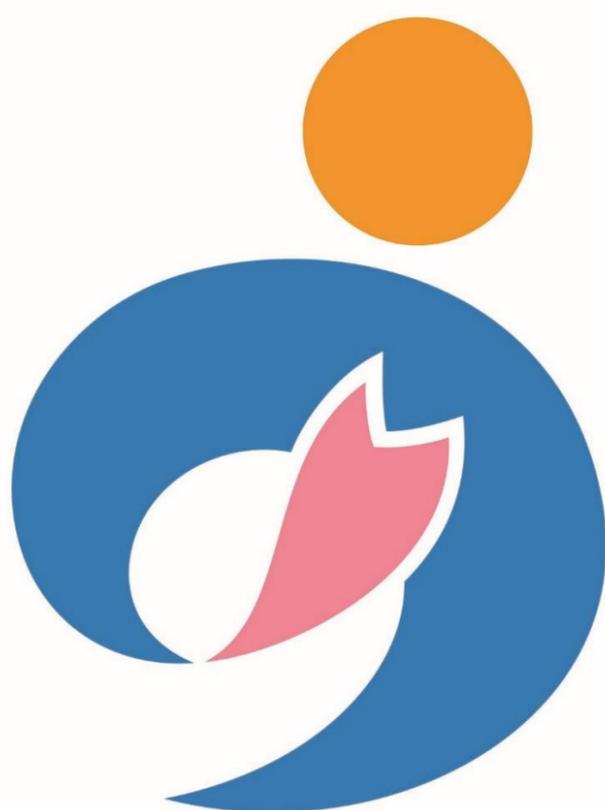


# 令和8年3月補正 予算事業説明書



## 産業課



款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計	
事業名	3	環境保全型農業直接支払交付金事業						所属名	産業課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	農業者の組織する団体					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	温室効果ガス排出削減への貢献、生物多様性保全の推進となっている。					②魅力ある農林業と商工業の振興				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	化学肥料・化学合成農薬の使用低減による環境負荷の軽減 地球温暖化防止、生物多様性保全に効果の高い営農の拡大					「4つの挑戦」から見た位置づけ ④活かに挑戦(産業振興と賑わいのまち)				
予算状況		補正前の額	補正額	計		根拠法令・要綱等					
		1,130 千円	△ 1,019 千円	111 千円		農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律、環境保全型農業直接支払交付金実施要綱・実施要領・交付要綱、南部町環境保全型農業直接支払交付金交付要綱					

【提案理由】

補助対象ほ場確定により、不用額を減額補正する。

【事業内容】

環境保全型農業直接支払交付金(国事業\_補助率:国1/2、県1/4、町1/4)

日本型直接支払のうち農業者団体等が、化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う、地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動について、5年間の事業計画・営農計画書を提出、町が認定を行い取組内容に応じた交付金を交付する。

支援対象となる農業者の要件: ①主作物について販売することを目的に生産を行っていること。  
②環境負荷低減のチェックシートの取組を実施していること(◎)

◎環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート解説書を読んだうえで、チェックを入れて町に提出するもの。

【状況】

年度をまたいで取組になった圃場(2ヶ年の取組で2年目に交付)や、堆肥の施用を計画していた圃場において5割減(肥料・農薬)ができなかった圃場があり、交付対象面積・交付額が減少となった。

単位:円

事業実施主体	事業内容	区分	交付対象面積	補助金額	補助金額	
					県費(1/3)	町費(1/6)
南部町環境保全型農業推進協議会	カバークロープ	当初	1091a	545,500	409,125	136,375
		実績	0a	0	0	0
	堆肥の施用	当初	1,371a	493,560	370,170	123,390
		実績	57a	20,520	153,690	5,130
市町村推進費	当初	-	90,000	90,000	0	
	実績	-	90,000	90,000	0	

【対応策】

事業実績額により、不用額を補正する。

〈歳入〉

105,390円-869,000円=△763,610円

〈歳出〉

20,520円-1,040,000円=△1,019,480円

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
15-2-4-1	環境保全型農業直接支援対策事業補助金	869	△ 764	10 需用費	90	0
				18 負担金補助及び交付金	1,040	△ 1,019
	一般財源	261	△ 255			
	計	1,130	△ 1,019	計	1,130	△ 1,019

有効性

成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)

【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】

地球温暖化の防止や生物多様性の保全などに効果をあげている。

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計	
事業名	9	多面的機能支払交付金事業						所属名	産業課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	農地の保全管理、施設修繕を行う農業者及び地域住民、団体					総合計画における位置づけ ②魅力ある農林業と商工業の振興				
	意図 (対象をどうするか)	農地の保全管理、農業用施設の補修及び改修を行う地域を支援する。農地の災害防止や環境保全、景観の形成などの働きを維持する。					「4つの挑戦」から見た位置づけ ④活力に挑戦(産業振興と賑わいのまち)				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	地域が共同して保全活動を行い、負担軽減や作業効率の向上を図る。 対象農用地の維持。					根拠法令・要綱等 多面的機能支払交付金実施要綱、多面的機能支払交付金交付要綱、鳥取県多面的機能支払交付金交付要綱、南部町多面的機能支払交付金交付要綱				
予算状況		補正前の額	補正額	計							
		42,540 千円	△ 4,858 千円	37,682 千円							

【提案理由】

令和7年度の各活動組織への交付配分額の確定により、不用額を減額補正する。  
※ 資源向上支払(施設の長寿命化)、事業推進事務費が満額交付とならなかったため

【事業内容】

多面的機能支払交付金

農業者や地域住民等で構成される活動組織が、5年間の計画に基づき農地を維持するための活動や、農業施設の補修及び改修等を行う。

国、県及び町は活動に応じて交付金を支払い、農地や農業用施設の維持を支援する。

※ 補助率:国1/2、県1/4、町1/4

- ・ 農地維持支払 … 農地、水路及び農道の日常的な維持管理活動を支援する
- ・ 資源向上支払(共同活動) … 農地、水路及び農道等の軽微な補修または農地環境保全活動を支援する
- ・ 資源向上支払(長寿命化) … 農業用施設の補修及び更新を支援する

【状況】

単位:千円

区分	当初予算				変更後			
	事業費	負担区分			事業費	負担区分		
		国費	県費	町費		国費	県費	町費
農地維持支払	16,073				15,498			
資源向上支払(共同活動)	7,271	21,216	10,607	10,609	7,755	18,787	9,393	9,396
資源向上支払(施設の長寿命化)	19,088				14,323			
本体交付金計	42,432	21,216	10,607	10,609	37,576	18,787	9,393	9,396
事業推進事務費	108	108	0	0	106	106	0	0
合計	42,540	21,324	10,607	10,609	37,682	18,893	9,393	9,396

【対応策】

事業の交付見込額により、不用額を補正する。

本体事業費(見込額) 37,575,272 円

事業推進事務費(見込額) 106,000 円

〈歳入〉

28,287,453円-31,931,000円=△3,643,547円

〈歳出〉

37,682,000円-42,540,000円=△4,858,000円

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
15-2-4-1	多面的機能支払交付金事業補助金	31,931	△ 3,644	10 需用費	58	0
				11 役務費	50	△ 2
				18 負担金補助及び交付金	42,432	△ 4,856
	一般財源	10,609	△ 1,214			
	計	42,540	△ 4,858	計	42,540	△ 4,858

有効性

成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)

【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】

農地の保全管理、農業用施設の補修および改修を行う地域を支援し、農地の災害防止や環境保全、景観の形成などの働きを維持する。

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農業振興費	会計名	一般会計	
事業名	39	スマート農業社会実装促進事業						所属名	産業課		
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	認定農業者、集落営農組織等					総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)	農業の省力・軽労化や労働力確保・技術継承に向けてスマート農業技術の導入を推進する					②魅力ある農林業と商工業の振興				
	成果の視点 (どのような効果があるか)	農業担い手の省力・軽労化によって、農業経営の安定化を図ると共に、農業に取り組みやすい環境を作り、人手不足解消を目指す					「4つの挑戦」から見た位置づけ ④活力に挑戦(産業振興と賑わいのまち)				
予算状況		補正前の額	補正額	計		根拠法令・要綱等					
		10,500 千円	△ 1,576 千円	8,924 千円		農業生産拡大に向けたスマート農業推進事業費補助金交付要綱、農業生産拡大に向けたスマート農業推進事業実施要領、南部町スマート農業社会実装促進事業費補助金交付要綱					

【提案理由】

事業実施完了に伴う補助金額の確定により、不用額を減額補正する。

【事業内容】

農業の経営改善、省力化等を目的に情報通信技術、ロボット技術を活用した農業用機械または設備を導入する認定農業者、集落営農組織等を対象に導入経費を支援する。

補助率:1/2(県1/3、町1/6)

(参考)スマート農機

- ・トラクター(自動運転、自動操舵)
- ・田植機、直播機(自動運転、直進アシスト、可変施肥)
- ・コンバイン(自動運転、食味・収量センサー)
- ・後付け型自動操舵装置
- ・ドローン(防除用、施肥用、センシング用)
- ・リモコン草刈機
- ・生産管理システム

【状況】

単位:円

事業実施主体	事業内容	区分	事業費	補助金額	補助金額	
					県費(1/3)	町費(1/6)
(株)Seedファーム	乾燥機(収量センサ付)	当初	61,656,000	10,500,000	7,000,000	3,500,000
		実績	17,845,546	8,923,773	5,949,182	2,974,591

【対応策】

事業実績額により、不用額を補正する。

補助金額 8,923,773円

〈歳入〉

5,949,182円-7,000,000円=△1,050,818円

〈歳出〉

8,923,773円-10,500,000円=△1,576,227円

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
15-2-4-1	スマート農業社会実装促進事業費補助金	7,000	△ 1,051	18 負担金補助及び交付金	10,500	△ 1,576
	一般財源	3,500	△ 525			
	計	10,500	△ 1,576	計	10,500	△ 1,576

有効性

成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)

【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】

高齢化等により農業の担い手が減少しており、営農の継続のために農業の省力化・軽労化が必要となっている

款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	8	畜産業費	会計名	一般会計
事業名	4	畜産経営緊急救済事業						所属名	産業課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	町内の酪農家						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	配合飼料や輸入牧草の急騰により農家所得が大幅に減少していることから、飼料代の一部を支援し、もって農業経営の安定を図る。						②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	町内の畜産農家が生産・出荷する体制を維持する。						「4つの挑戦」から見た位置づけ ④活力に挑戦(産業振興と賑わいのまち)		
				根拠法令・要綱等		南部町畜産経営緊急救済事業補助金交付要綱、南部町和子牛緊急対策事業費補助金交付要綱				
予算状況		補正前の額	補正額	計						
		1,728 千円	△ 1,061 千円	667 千円						

【提案理由】

- 1 県と協調し畜産農家への緊急支援として予算を計上し対応していたが、飼料価格の値下がり傾向の中で予算積算時における飼料価格の想定(超過額)に差異が生じたため、南部町畜産経営緊急救済事業費補助金の実績見込みによる不用額(見込)を減額補正する。
- 2 鳥取県中央家畜市場において、各月に和子牛せり平均価格が61万円を下回った場合、差額の一部を県と協調し支援してきたが、令和7年4月から令和7年12月の期間について実績が無かったため、南部町和子牛緊急対策事業費補助金の不用額を減額補正する。

【事業内容】

- 1 搾乳牛1頭あたりの飼料価格を基準として、基準価格を超えた飼料代の1/4を鳥取県及び統括事業者と協調支援を行う。なお、支援金については事業実施者から畜産農家へ配分されるもの(対象農家 2戸)。
- 2 令和7年4月から令和7年3月までの鳥取県中央家畜市場において、和子牛せり平均価格が61万円を下回った場合、差額の一部を鳥取県と協調支援する(対象農家 8戸)

【状況】

1・頭数状況

	経産牛頭数
対象農家A	68
対象農家B	39
計	107

・補助金支給状況及び実績見込み

	頭数	現予算額		4月～12月実績		1月～3月補助見込	
		対象経費	補助金額	対象経費	補助金額	対象経費	補助金額
対象農家A	68	2,657,200円	664,300円	1,145,800円	286,450円	171,360円	42,840円
対象農家B	39	1,708,200円	427,050円	657,144円	164,286円	98,280円	24,570円
計	107	4,365,400円	1,091,350円	1,802,944円	450,736円	269,640円	67,410円

2・頭数状況

	和子牛頭数	補助率
対象農家	60	1/4
計	60	

・補助金支給状況及び実績見込み

	頭数	現予算額		4月～12月実績		1月～3月補助見込	
		対象経費	補助金額	対象経費	補助金額	対象経費	補助金額
対象農家	60	2,545,860円	636,480円	0円	0円	589,036円	147,259円
計	60	2,545,860円	636,480円	0円	0円	589,036円	147,259円

【対応策】

- 1 実績見込みにより減額補正する(負担金補助及び交付金)  
必要額 518,146円(450,736円+67,410円)－予算額1,091,350円＝△572,854円≒△572千円
- 2 実績見込みにより減額補正する(負担金補助及び交付金)  
必要額 147,259円－予算額636,480円＝△489,221円≒△489千円  
補正額 △572千円 + △489千円 = △1,061千円

(歳入内訳 単位:千円)

(歳出内訳 単位:千円)

款-項-目-節	科目名称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
				18 負担金補助及び交付金	1,728	△ 1,061
	一般財源	1,728	△ 1,061			
	計	1,728	△ 1,061	計	1,728	△ 1,061

有効性

成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)

【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】

肥育に必要な飼料代、和子牛せり価格の一部を支援することによって、生産者の経営安定が図られ、離農・廃業を防止することができる。

款	5	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費	会計名	一般会計
事業名	1	有害鳥獣駆除事業						所属名	産業課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	鳥獣対策協議会、農業従事者、猟友会員ほか駆除従事者						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)	鳥獣からの農作物被害を防止するとともに、駆除従事者等を支援する。						②魅力ある農林業と商工業の振興		
	成果の視点 (どのような効果があるか)	鳥獣からの農作物被害の軽減を図り、農業意欲を維持する。						「4つの挑戦」から見た位置づけ ④活力に挑戦(産業振興と賑わいのまち)		
予算状況		補正前の額	補正額	計		根拠法令・要綱等				
		18,897 千円	△ 3,903 千円	14,994 千円		鳥取県鳥獣被害総合対策事業費補助金交付要綱、鳥取県鳥獣被害防止総合対策交付金交付要綱、南部町鳥獣被害防止対策事業費等補助金交付要綱、南部町鳥獣捕獲従事者支援交付金交付規則				

【提案理由】

イノシシ侵入防止柵購入事業及び捕獲奨励金について、実績見込みにより不用額を減額補正する。

【事業内容】

野生鳥獣による農林業被害の軽減のため、鳥獣の捕獲により個体数を減少させる事業及び水田等の農地への侵入を防止するための支援を行う。

- ・ワイヤーメッシュ等による侵入防止柵の設置  
(補助率) 県事業: 県1/3、町1/3 受益者 1/3、単町事業: 町2/3、受益者1/3

【状況】

単位: 千円

費目	予算額	実績見込額	補正額	備考
報酬	33	33	0	鳥獣被害対策実施隊員報酬
報償費	4	4	0	巣箱コンクール副賞(図書券)
需用費	29	29	0	事業用消耗品
役務費	6	6	0	返信用切手代
委託料	6,325	6,325	0	鳥類駆除、イノシシ駆除
原材料費	4,000	3,097	△ 903	有害鳥獣侵入防止柵資材
負担金補助及び交付金	8,500	5,500	△ 3,000	イノシシ・シカ・ヌートリア捕獲奨励金等
計	18,897	14,961	△ 3,903	

【対応策】

<歳入>

- 国・県補助金 △821千円
  - ・侵入防止柵 △334千円
  - ・捕獲奨励金 △487千円

諸収入 △300千円

- ・イノシシ等被害防止地元負担金 △300千円

<歳出>

原材料費 △903千円

負担金補助及び交付金 △3,000千円

- ・その他補助金 △3,000千円

(歳入内訳 単位: 千円)

(歳出内訳 単位: 千円)

款-項-目-節	科目名称	補正前の額	補正額	節	補正前の額	補正額
15-2-4-2	有害鳥獣駆除事業補助金	6,740	△ 821	1 報酬	33	0
20-5-5-1	イノシシ等被害防止負担金	1,333	△ 300	7 報償費	4	0
				10 需用費	29	0
				11 役務費	6	0
				12 委託料	6,325	0
				15 原材料費	4,000	△ 903
	一般財源	10,824	△ 2,782	18 負担金補助及び交付金	8,500	△ 3,000
	計	18,897	△ 3,903	計	18,897	△ 3,903

有効性

成果の視点からみたこれまでの成果内容、または成果が見込まれる点(前年度までの実績、補正前までの状況をもとに記載)

【※新規要求又は補正予算を行うことによる成果見込を記入すること】

駆除及び侵入防止策設置による被害の拡大を防止、農業者の経済的な損失の発生を食い止めている状況から、今後も継続的な対策が必要である。